

# 〈まずは、ご相談を〉

## ○児童扶養手当 ～母と子どものしあわせのために～

児童扶養手当は、父と生計を同じくしていない児童が育てられている家庭の生活の安定と自立を助けるために、児童の母や母にかわってその児童を養育している人に支給されます。父と生計を同じくしていても、父の心身に一定の障がいがある場合には支給されます。

### 【受給資格者】

十八歳に達する日以後の最初の三月三十一日までの間にある(心身に障がいのあるときは二十歳未満)児童を監護している母又は母にかわってその児童を養育している人。

- ① 父母が離婚した後、父と生計を同じくしていない児童
- ② 父が死亡した児童(公的年金を受けることができる場合を除く)
- ③ 父が一定の障がいの状態にある児童
- ④ 父の生死が明らかでない児童
- ⑤ 父が引き続き一年以上遺棄している児童
- ⑥ 父が法令により引き続き一年以上拘禁されている児童
- ⑦ 母が婚姻によらないで生まれた児童(未婚の母の子)
- ⑧ 孤児などで、父母がいるのか否か不明の児童

### 【手当の額】

全部支給 41,720円

一部支給 9,850～41,710円

※ 一部支給は所得に応じて、10円単位で計算されます。

### 【支給制限】

受給資格者及びその生計を同じくする扶養義務者等の前年の所得が限度額以上ある場合は、手当の全部又は一部が支給停止されます。

なお、平成二十年四月より児童扶養手当を受けてから五年を経過するなどの要件に該当する方には、期間が満了する月の二ヶ月前に町から「重要なお知らせ」などが郵送されます。これまで同様に手当を受給するためには、関係書類を提出期限までに提出する必要があります。



## ○特別児童扶養手当 ～障がいのあるお子さんのために～

身体又は精神に障がいのある児童を監護又は養育している人に支給されます。

### 【受給資格者】

身体又は精神に中度または重度の障がいを有する二十歳未満の児童を監護している父もしくは母、又は父母にかわって児童を養育している人。

申請方法等、詳しくは保健福祉課福祉班へお問い合わせ下さい。

電話 0241(84)7010

## 広報ただみ診療所

朝日診療所 医師 星野弘尊

7月頃より、診療所にもハチ刺されの患者が頻繁に訪れるようになっていました。そこで今回は、ハチ刺され(ハチ刺傷)について知っていただくと思います。

ハチ刺傷で問題になるのはアシナガバチ、スズメバチ、ミツバチ、マルハナバチの約20種です。ハチに刺された場合、その症状にはハチ毒による直接作用とアレルギー反応があります。直接作用とはハチの毒の作用で何力所も同時に刺され注入量が多い場合、全身症状が出現し、死亡することがあります。一方、アレルギー反応はハチ毒の注入量にかかわらず起り、ハチ刺傷での死亡は大部分がアナフィラキシー反応によるものです。

症状は、通常、疼痛、腫脹、紅斑であり、痛みは数時間～1日で消失し、かゆみを伴う硬結を残します。注入量が多い場合やアナフィラキシー反応(数分～十数分以内)、遅延反応(2日～14日後)では全身症状が出現します。全身症状で特に注意が必要なのは、呼吸困難、血圧低下(著明な発汗、眼前暗黒感、ふらつき)、蕁麻疹であり、出現した場合は、早急に最寄りの医療機関を受診してください。

現場でできる処置として、針が残る場合は除去してください。この時、つまむと毒液を注入することになるので、爪ではじき飛ばすようにしましょう。毒を吸い出す

という行為はほとんど意味がありませんのでやめましょう。また抗ヒスタミン軟膏を塗布し、冷やしてください。(大切なので2回目ですが)全身状態が出現したら、速やかに医療機関を受診しましょう。ただし、ハチ刺傷でこれまでに具合が悪くなったことがある場合、症状がなくても刺傷直後であれば、医療機関を受診してください。

ですが、一番大切なのはハチに刺されないことでしょう。そのためにどうしたらよいか具体的に述べておきます。

- 蜂の巣に近づかない
- 家屋内に営巣させないよう穴をふさぐ
- 肌に着る衣服を用い、服の下に蜂が入らないようにする
- 白っぽい服を着る(花模様や黒い服をさける)
- 芳香のある化粧品は避ける
- 戸外で甘味物の飲食をしない
- 自動車の窓を開け放しにしない

- 蜂のいるところで立ち止まらない
- 洗濯物を取り入れるときは蜂をまぎれ込ませないように注意する
- 不用意に藪の中に入らない、見張りの蜂をみかけたら、その巣が近いので注意する
- これらのことに注意して、夏を乗り切ってください。